

まちなか広場のマネジメントを支援

(研究期間：平成 29 年度)

社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室
 研究官 (博士(工学)) 西村 亮彦 室長 舟久保 敏



(キーワード) まちなか広場、公共空間、マネジメント、まちづくり、にぎわい創出

4. 暮らしやすさの向上

1. はじめに

近年、人口減少や少子高齢化等、わが国の都市を取り巻く社会状況が大きく変化し、まちなかのオープンスペースについて戦略的な質の向上が求められる中、賑わい創出や交流促進を目的とした多様なまちなか広場の運営が、全国各地で取り組まれてきた。

一方、まちなか広場のマネジメントについては、未だ試行錯誤の段階で、確立した方法論が存在しないことから、体系的なマネジメントスキームの構築と、全国のまちなか広場でこれまで培われてきたアイデア・ノウハウの蓄積・共有が求められている。

2. まちなか広場の体系的な整理

全国のまちなか広場60件を対象としたアンケート調査を実施し、広場の基本情報、整備・運営の経緯、立地形態、空間形態、運営・管理体制、条例等の規則、イベント等の使用状況、日常利用の状況、運営・管理上の工夫や課題に係る情報を収集・整理した。

継続的なまちなか広場のマネジメントを実践する上で、安定した運営体制と事業スキームの構築が重要であることから、アンケート結果を基に、土地所有者・敷地管理者と運営管理者の関係性、及び資金の流れに着目した運営スキームの体系的な整理を行った。(図-1)

3. 手引き(案)・事例集の作成

以上のアンケート調査に加え、現場で発生している課題とその解決に向けたアイデアを抽出するべく、現場担当者に対するヒアリング調査を実施し、運営スキーム構築の考え方と、まちなか広場のマネジメントを実践する上での具体的な留意事項を整理した手引き形式の技術資料の作成を進めている。(図-2) 手引きの巻末には、全国各地におけるまちなか広場マネジメントの取り組みを整理した事例集を掲載し、手引き本編と併せて、広場の類型に応じた情報検索が可能な仕様にとりまとめている。

【運営スキーム構築の考え方】

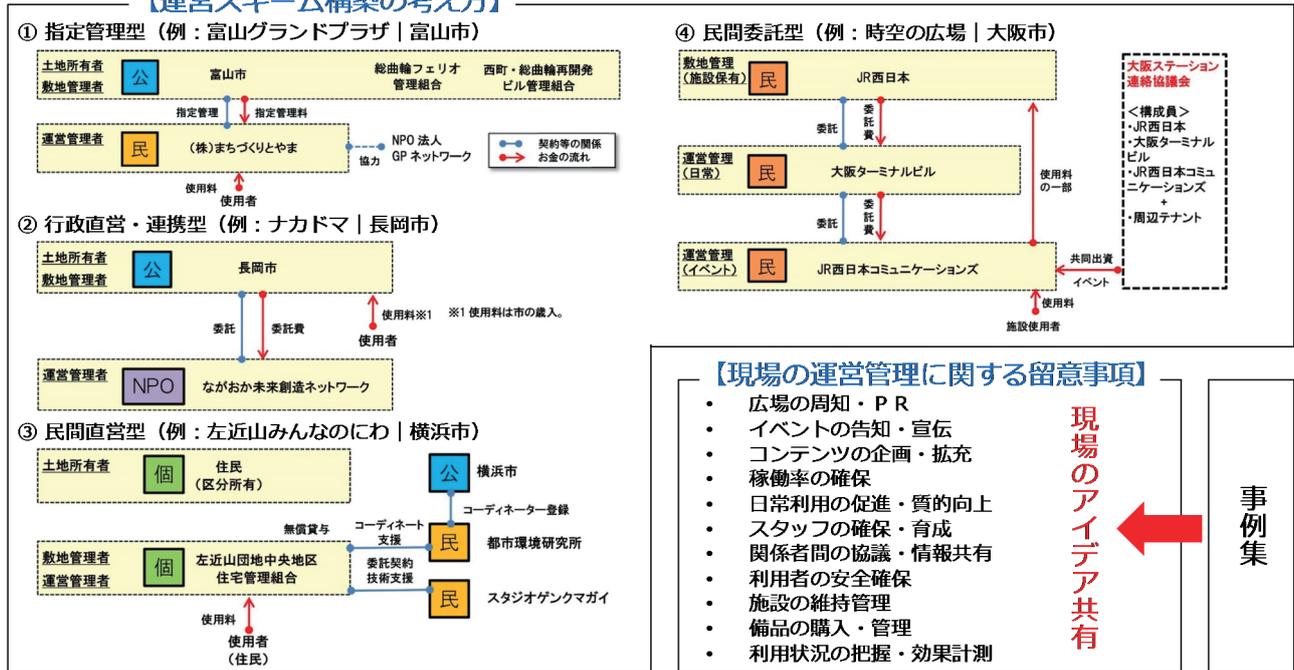


図-1 運営スキームの体系的な整理

図-2 手引きにおける実践的な留意事項の整理